

令和6年第2回公立甲賀病院組合議会定例会 会議録

招集年月日	令和6年3月27日(水)					
招集の場所	甲賀市水口町 公立甲賀病院2階講堂					
開会(開議)	3月27日 午前10時00分			議長	藤川 みゆき	
出席議員並びに欠席議員 出席 10名 欠席 0名 凡例 ○出席を示す △欠席を示す	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
	1	西村 慧	○	6	加藤 貞一郎	○
	2	中島 裕介	○	7	上野 顕介	○
	3	西田 忠	○	8	藤川 みゆき	○
	4	木村 眞雄	○	9	細川 ゆかり	○
	5	西山 実	○	10	森 淳	○
説明のために出席した者	管理者	岩永 裕貴		副管理者	生田 邦夫	
	会計管理者	岸村 守		代表監査委員	辻 恵子	
	事務局長	玉木 正生		/		
職務のため出席した者の氏名	中井 さおり、伊藤 幸造、田中 健二、森口 三義、山西 恒男、岸村 涼平					
議事次第	別紙のとおり					
会議録署名議員	5番	西山 実		6番	加藤 貞一郎	

令和6年第2回公立甲賀病院組合議会
定例会議事日程

令和6年3月27日
午前10時00分開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 議案第3号 令和6年度公立甲賀病院組合一般会計予算について
- 日程第4 議案第4号 公立甲賀病院組合監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第5 議案第5号 令和5年度公立甲賀病院組合一般会計補正予算（第3号）について
- 日程第6 議案第6号 地方独立行政法人公立甲賀病院定款の変更につき議決を求めることについて
- 日程第7 一般質問

議事の経過

○ 開会 開議

藤川議長

改めまして、皆様おはようございます。今月 8 日甲賀看護専門学校の卒業式に出席させていただきました。今年度の卒業生の方は、コロナ禍の実習などいろいろとご苦勞をされながらの 3 年間であったこともあり感動もひとしおだったという様子でした。このことをご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は 10 名で、地方自治法第 113 条の規定により、定足数に達しております。よって、令和 6 年第 2 回公立甲賀病院組合議会定例会は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の日程はあらかじめお手許に配信したとおりであります。

この際、日程に入るに先立ち、監査委員から現金出納検査並びに定期監査の報告を受けました。その写しを事前に配信しましたのでご了承願います。

日程第 1 会議録署名議員の指名

藤川議長

日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 74 条の規定により、5 番、西山実議員、6 番、加藤貞一郎議員を指名いたします。

日程第 2 会期の決定

藤川議長

日程第 2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りします。

本定例会の会期は本日 1 日限りとしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

藤川議長

異議なしと認めます。

よって、会期は本日 1 日間と決しました。

案件に入ります前に、管理者より挨拶がありますので、よろしく願いいたします。

○岩永管理者挨拶

岩永 管理者

改めまして、ご挨拶を申し上げます。

本日、公立甲賀病院組合議会議員の皆様には、年度末、何かとご多用のところ本定例会にご参集いただきまして、誠に有り難うございます。

平素は、公立甲賀病院組合の運営に対しまして、格別のご理解また、ご協力を賜っておりますこと、重ねてこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、先日、甲賀看護専門学校卒業式に管理者として出席をいたして参りました。今年は37名の看護師の卵が学び舎を巣立ち、その内の31名が新たな勤務地として、この公立甲賀病院を選んでいただいたとお伺いをいたしております。当病院が甲賀保健医療圏域の中核病院としての役割を果たすためにも、こうした新人の育成に万全の体制で臨んでいただきたいと期待をいたしております。

一方、看護師を目指して新たに入学をしてくれる学生は、定員を下回る状況がここ数年続いております。本年4月の入学予定者は26名と、定員である40名を大きく下回っている状況となっております。18歳人口の減少、また、4年生大学への進学傾向などが要因と考えられますが、全国的な看護師不足の対策のためにも、国及び県の施策に期待をしながら、当看護専門学校においても入学生の確保にしっかりと尽力をしていきたいと考えております。

次に、公立甲賀病院の経営状況でございますが、2月末時点の収益的収支につきましては、医業収支比率が91.8%、経常収支比率が96.6%となり、今年度途中からコロナ関連の補助金が無くなったことにより、昨年度に比較し経常収支比率が3ポイント悪化となっております。しかしながら、医業に係る収益につきましては、12月から3ヶ月連続9億円を超え、診療単価の増加等により順調に回復してきております。

病床の利用につきましては、昨年10月から再開をいたしました急性期病床25床を含めた病院全体の病床利用率は81.4%となり、コロナ禍前の数値に近づきつつある状況であります。

また、救急患者の状況につきましては、1月に401人、2月には336人の患者を受け入れていただきました。当圏域の急性期医療の維持に引き続き努めていただきたいとと考えております。

最後になりますが、本日は、予算関係議案が2件、条例改正議案が1件及び定款変更に係る議案1件の提案をいたしております。よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます、定例会招集にあたりましてのご挨拶といたします。

日程第3 議案第3号

藤川 議長

日程第3、議案第3号「令和6年度公立甲賀病院組合一般会計予算」の件を議題といたします。

本件について、管理者から提案理由の説明を求めます。

岩永 管理者

議長。

藤川 議長

管理者。

岩永 管理者

議案第 3 号「令和 6 年度公立甲賀病院組合一般会計予算について」の提案理由を申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額を 21 億 5,340 万円とするものであります。

まず、歳出につきまして、1 款、議会費で組合議員 10 名の報酬等で 56 万 5 千円、2 款、総務費においては、組合職員給料、組合職員及び法人職員の共済費、並びに監査委員費等で 2 億 6,622 万円、3 款、衛生費では、法人への負担金と看護学校授業料減免費交付金で 6 億 1,995 万 5 千円、4 款、公債費では、法人からの収入で償還する元金及び利子 5 億 235 万 1 千円、5 款、諸支出金では、高額医療機器や施設等の整備に係る貸付金 7 億 6,430 万円を計上したものであります。

次に、歳入につきましては、1 款、分担金及び負担金で構成 2 市からの負担金 6 億 3,196 万 5 千円、5 款、諸収入として、法人からの病院貸付金元利収入及び職員の共済費用 7 億 5,635 万 1 千円、6 款、地方債として、地方独立行政法人法の規定により法人に代わり組合が借入れする起債予定分 7 億 6,430 万円が主なものでございます。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

藤川 議長

提案理由の説明が終わりました。

本組合議会では質疑の事前通告制を取っております。

議員 2 名から質疑の通告がありますので、発言を許します。

5 番 西山議員

西山 議員

それでは通告に基づきまして、令和 6 年度公立甲賀病院組合一般会計予算について 1 点、質問させていただきます。

本日、提案いただきました、それぞれ歳出、歳入それぞれについて、令和 5 年度の予算との差異の大きいものについて、改めてその詳細の理由を伺いたしたいと思います。よろしくお願いたします。

玉木 事務局長

議長。

藤川 議長

事務局答弁。

玉木 事務局長

5 番、西山議員の質疑にお答えいたします。

令和 5 年度予算との差異の大きいものにつきましては、まず、歳出の主なものとしましては、4 款、公債費、1 項、公債費におきまして、平成 30 年度に医療機器整備事業で借り入れていた地方債の償還が終了したことなどにより 2 億 5,390 万 7 千円の減額になるもの、また、5 款、諸支出金、1 項、病院貸付金におきまして、関係資料のとおり起債借入れによって法人が整備する建物付属設備 6 件及び、医療機器 15 件の額が 1 億 8,890 万円の増額になるものが差異の大きなものでございます。

次に、歳入につきましては、歳出に連動いたしまして、5 款、諸収入、1 項、貸

付金元利収入、1 目の法人から収入する病院貸付金元利収入におきまして 2 億 5,390 万 7 千円の減額、また 6 款、地方債、1 項、地方債におきまして借入金が 1 億 8,890 万円の増額となるものが主なものでございます。

以上でございます。

藤川議長

次に 1 番、西村議員

西村議員

上程されております議案第 3 号「公立甲賀病院組合一般会計予算」の中の歳出 2 款、総務管理費の 1 目、一般管理費についてお伺いをいたします。予算書における前年度比較を見ますと 2,558 万 4 千円の増と大きな比較増となっております。特に区分といたしまして見ますと、特に共済費に起因するものと認識しておりますが、令和 4 年度以前においてもですね、大きな増減を繰り返しているところで、また、歳出の全額が 21 億というところで、この内 1 割位が共済費と大きな支出となっていますので、その原因についてお伺いいたします。よろしくお願ひいたします。

玉木事務局長

議長。

藤川議長

事務局長。

玉木事務局長

1 番、西村議員の質疑にお答えいたします。

1 目、一般管理費が過去においても増減が大きい理由につきまして、まず、令和 6 年度の一般管理費が 2,558 万 4 千円の増となっております。その理由につきましては、4 節の共済費において休床病床の再開を目指した看護師の増員によりまして、法人職員の基礎年金拠出金が増額したことが主なものでございます。

次に、令和 5 年度では、一般管理費が 727 万 6 千円の増となっております。理由につきましては、4 節の共済費におきまして、基礎年金拠出金にかかります負担金の率がこの年上がったことにより増加したものでございます。

また、令和 4 年度では、一般管理費が 2,524 万 7 千円の減となっております。その理由につきましては、令和 3 年度予算の 3 節、職員手当等におきまして、3 年度末に退職する職員の退職手当が計上されていたことにより減少したものでございます。

以上でございます。

藤川議長

他に関連質疑は、ありませんか。

(「なし」の声あり)

藤川議長

以上で今回通告のありました質疑が終わりましたので、質疑を終了いたします。これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

藤川議長

討論なしと認め、討論を終了いたします。
これより議案第3号を採決いたします。
本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

藤川議長

全員挙手。
よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第4号

藤川議長

続きまして、日程第4、議案第4号「公立甲賀病院組合監査委員に関する条例の一部を改正する条例について」の件を議題といたします。
本件について管理者からの提案理由の説明を求めます。

岩永管理者

議長。

藤川議長

管理者。

岩永管理者

議案第4号「公立甲賀病院組合監査委員に関する条例の一部を改正する条例について」その提案理由を申し上げます。
本議案は、地方自治法の一部改正に伴い、同法の条文に条ずれが生じたこと、並びに条文の整理を行ったことから改正するものであります。
なお、この条例は、令和6年4月1日から施行することといたします。
よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

藤川議長

提案理由の説明が終わりました。今回は、質疑の通告がありませんでしたので、質疑を終了いたします。

藤川議長

これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

藤川議長

討論なしと認め、討論を終了いたします。
これより議案第4号を採決いたします。
本案は、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

藤川議長

全員挙手。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第5号

藤川議長

日程第5、議案第5号「令和5年度公立甲賀病院組合一般会計補正予算（第3号）について」の件を議題といたします。

本件について、管理者から提案理由の説明を求めます。

岩永管理者

議長。

藤川議長

管理者。

岩永管理者

議案第5号「令和5年度公立甲賀病院組合一般会計補正予算（第3号）について」その提案理由を申し上げます。

歳入歳出それぞれ1億9,748万7千円を減額し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ20億2,221万円とするものであります。

この補正の理由としましては、甲賀看護専門学校の授業料減免対象となる生徒が当初予測より少数であったことによる交付金の減額、及び病院への貸付金において、高額医療機器等の整備費が当初予定額より安価に購入できたことから減額をするものであります。

補正内容につきましては、歳出において、3款、衛生費、2項、病院費の看護学校授業料減免交付金、5款、諸支出金、1項、病院貸付金を減額するものであります。

歳入につきましては、1款、分担金及び負担金、6款、地方債で減額をさせていただくものであります。なお、起債に係る資料につきましては、先に送信いたしておりますのでご確認をください。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

藤川議長

提案理由の説明が終わりました。

議員1名から質疑の通告がありますので、発言を許します。

5番 西山議員

西山議員

それでは上程されております、議案第5号「令和5年度甲賀病院組合一般会計補正予算（第3号）」につきまして質問させていただきます。

関連資料で令和5年度高額医療機器等施設整備事業における起債確定一覧表の手術支援ロボットの概算事業費3億6,085万円に対し、確定事業費が1億8,094万5,600円となっております。その確定事業費が約2分の1となった理由、詳細の理由をお伺いいたします。

玉木事務局長

議長。

藤川議長

事務局長、答弁。

玉木事務局長

5番、西山議員の質疑にお答えいたします。

手術支援ロボット整備事業の確定事業費が概算事業費に対して差が大きかった理由についてでございます。

当病院内の手術支援ロボット整備事業に係ります機種選定委員会におきまして、アメリカ製と日本製の2種類の手術支援ロボットについて比較検討されました。検討項目といたしましては、1つ目に「本体と周辺機器を合わせた価格」、2つ目に「ランニングコスト」、3つ目に「導入後のメーカーによるサポート体制」、4つ目に「外科手術の適応状況」、5つ目に「機器の操作性」等を総合的に判断して機種を選定されました。その結果、操作性や外科手術適応状況が同程度であり、価格、ランニングコスト、サポート体制に優れる日本製の機種を決定され、約2分の1の価格に抑えることができたものでございます。

以上でございます。

西山議員

議長。

藤川議長

5番、西山議員。

西山議員

当初の見積もりについては、このアメリカ製を念頭に置かれていたのかどうか、1つだけ再質問させていただきます。

玉木事務局長

議長。

藤川議長

事務局長。

玉木事務局長

当初予算につきましては、どちらの機種選定をするか分かりませんでしたので、アメリカ製の機種の額を置いておりました。以上です。

藤川議長

他に関連質疑は、ありませんか。

(「なし」の声あり)

藤川議長

以上で今回通告のありました質疑が終わりましたので、質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

藤川議長 討論なしと認め、討論を終了いたします。
これより議案第5号を採決いたします。
本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

藤川議長 全員挙手であります。
よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第6号

藤川議長 続きますして、日程第6、議案第6号「地方独立行政法人公立甲賀病院定款の変更につき議決を求めることについて」の件を議題といたします。
本件について管理者から提案理由の説明を求めます。

岩永管理者 議長。

藤川議長 管理者。

岩永管理者 議案第6号「地方独立行政法人公立甲賀病院定款の変更につき議決を求めることについて」提案理由を申し上げます。

令和4年6月から休止状態にある訪問看護ステーション湖南サテライトの業務を病院本部に集約をするために、地方独立行政法人公立甲賀病院定款第16条第4項の規定から公立甲賀病院訪問看護ステーション湖南サテライトを削除するものであります。

この変更により、湖南省の訪問看護利用者に対するサービスの低下が生じないよう、本部において確実に事業を継続して実施してまいります。

また、その他、地番の表記修正など必要な規定の整理を行うものであります。

なお、この定款は令和6年4月1日からの施行とするものです。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

藤川議長 提案理由の説明が終わりました。今回は、質疑の通告がありませんので、質疑を終了いたします。

藤川議長 これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

藤川議長 討論なしと認め、討論を終了いたします。
これより議案第6号を採決いたします。
本案は、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

藤川議長

全員挙手であります。

よって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

日程第7 一般質問

藤川議長

次に、日程第7「一般質問」を行います。

議員2名から一般質問の通告がありますので、発言を許します。

5番、西山議員。

西山議員

議席番号5番、西山実でございます。議長の許しを得ましたので、通告どおり一般質問をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

大きく2点ありまして、1点目は、新型コロナウイルス、インフルエンザの感染状況についてご質問させていただきます。

この冬は、新型コロナウイルス第10波に加え、インフルエンザ感染が広がっております。そこで12月、1月、2月の発熱外来の患者状況と感染状況について2点質問します。

1点目は、甲賀病院における新型コロナウイルス、インフルエンザの検査数と患者数の推移についてお伺いいたします。

2点目です。今の1番に対して、患者の特徴、重症か軽症なのか、入院状況について前年とどうなのか、そのことについてお尋ねいたします。

大きく2項目目です。「休床病床の再開見通しと看護師体制の確立について」お尋ねします。令和5年10月「地方独立行政法人公立甲賀病院組合令和4年度の業務実績に関する評価結果報告書」の全体評価に、「令和元年度から休床している48床については、着実に看護師確保を行い早期に再開されることを求める。そのうえで病床利用率の向上に努めていただきたい。」とあり、令和5年10月に休床病床48床のうち、先程もありました25床の再開ができ、令和6年10月には残りの23床の再開を目指しておられます。その時には400名の看護師が必要と見込んでおられます。そう言う意味にお聞きしております。そこで以下について質問させていただきます。

1点目です。病床再開における経営改善の見通しは如何でしょうか。

2点目、400名の看護師体制に向けた取り組みについて、いくつか尋ねます。1つが、令和6年4月1日時点の看護師の人数見通しについて、先程もありましたけれど、改めて通告しておりますのでお尋ねいたします。2点目です。看護師採用の強化策と取り組み状況についてお伺いいたします。3点目です。看護師の離職防止対策と取り組み状況についてお伺いいたします。4点目です。令和5年度の看護師の離職人数と離職率の見通し、令和4年度との比較についてお伺いします。5点目です。主な看護師の離職理由についてお伺いします。以上よろしくお願いいたします。

玉木事務局長

議長。

藤川議長

事務局長答弁。

玉木事務局長

5番 西山議員の一般質問にお答えいたします。

大きな1点目「新型コロナウイルス、インフルエンザの感染状況について」であります。

1つ目の甲賀病院における検査数でございます。新型コロナウイルスは、12月は763検体、1月は679検体、2月は520検体と、12月をピークに現在は減少傾向となっております。一方、インフルエンザは、12月は661検体、1月は677検体、2月は525検体と、1月をピークに現在は減少傾向となっております。感染者数につきましては、検査を実施した方のうち新型コロナウイルスでは12月は57人、1月は128人、2月は88人、一方、インフルエンザでは12月は216人、1月は175人、2月は127人と、共に減少傾向となっております。

2つ目の、患者の特徴と入院状況、前年との比較についてでございます。新型コロナウイルスの入院患者の状況につきましては、12月は延べ206人、前年同月では860人、1月は119人、前年同月で1,020人、2月は55人、前年同月194人となり、検査数と同様に減少傾向にございます。また、新型コロナの重症者は昨年と比較し大幅に減少しており、患者の特徴につきましては、脱水による補液が必要な方や、既往症等による重症化リスクの高い方が入院管理となるケースが多い状況でございます。

なお、インフルエンザの患者につきましては、原疾患として入院される方はおられません、肺炎や脳症等を発症し入院される方が数名おられる状況でございます。

次に、大きな2点目「休床病床の再開見通しと看護師体制の確立について」の1点目「病床再開における経営改善の見通し」についてでございます。令和5年10月の休床病床の25床再開によりまして、再開直後の10月の稼働病床ベースの病床利用率は、病床再編の影響もあり、病床全体で71.6%と、前年同月の77.5%より低い利用率でありました。しかし病棟看護師の人員確保により11月頃から効果も出始め、病床利用率も上昇いたしました。令和6年2月の病床利用率は、病床全体で81.4%まで上昇し、前年同月の81.6%と同程度の病床利用率まで回復いたしました。病床再開の効果は、収益面にも表れており、25床再開時の令和5年10月の入院収益は5億5,143万円でありましたが、再開後の令和5年12月には、入院収益が初めて6億円を超え、前年同月比では1億円を超える増加額となっております。本年10月には残る休床病床を再開し、病床利用率の向上を図ることで入院収益の増加により経営改善が図れるものと考えております。

次に、2点目の「400名の看護師体制に向けた取り組み」についてでございます。1つ目の「令和6年4月1日現在の看護師の人数見通し」につきましては、応援看護師、派遣看護師を含め391人になる見込みであります。

次に、2つ目の「看護師採用の強化策と取り組み状況」につきましては、近隣府県の大学、看護専門学校を訪問し甲賀病院への就職勧誘を行ったほか、県内及び近隣府県で開催されます、就職情報提供コンサル等の合同説明会に参加いたしました。また、毎年のごとであります、甲賀市・湖南市の高等学校を訪問し、甲賀看護専門学校入学の案内を行ったところであります。なお、応援看護師、派遣看護師として就職していただいた方のための看護師寮を確保するなどの環境整備も行ってまいります。

次に、3つ目の「看護師の離職防止対策と取り組み状況」につきましては、今年度実施しました職員アンケート結果から課題や懸案事項を把握し、メンタルヘルスを含む研修、院長や所属長による定期的な面談の実施、部分休業の取得延長、また、家庭の事情、適応困難などに悩む看護師に対して配置換えを行うなど、職場環境の改善に努めてまいります。今後も看護師確保コンサルタントと共同で看護師の確保及び離職防止対策に取り組んでまいります。

次に、4つ目の「令和5年度の看護師の離職人数と離職率の見通し、令和4年度との比較」につきましては、令和5年度の離職者は59人、離職率は15.9%となる見込みでございます。令和4年度の離職者は42人、離職率は11.7%と比較いたしますと、離職者では17人増加、離職率では4.2ポイント高くなる見込みでございます。

次に、5つ目の「主な看護師の離職の理由」につきましては、今年度の離職者の主な理由ですが、スキルアップや介護施設等への転職が10人、体調不良が12人、技術不足等による自立困難が10人、親の介護や育児など家庭環境によるものが10人でありました。

以上、答弁といたします。

西山議員

議長。

藤川議長

5番、西山議員。

西山議員

丁寧な説明ありがとうございました。大きな2項目目の看護師の確保について再質問をさせていただきます。

先程、3番目の説明の時に看護師の離職防止対策の取り組みのところで、アンケート結果から課題を抽出したという返答でございました。このアンケート結果で以前との何か特徴と言うのが、もし分かりましたらお教え願いたいなど、こういう特徴が令和5年度のアンケート結果で導き出されましたというものがあれば教えていただきたいと思っております。

そして5点目にありました主な看護師の離職理由の中で、スキルアップ転職とか親の介護とか、そういうのは良いのですけれども、技術が着いていけないとか、2番目に言われた12人と10人、これについては増えているんでしょうか、先程、全体では17人増えていると言われましたけども、この増えている特徴の中に先程言われた4項目のどの項目の離職が増えているのか、そこだけ再質問をさせていただきます。よろしく願いいたします。

玉木事務局長

議長。

藤川議長

事務局長答弁。

玉木事務局長

再質問にお答えいたします。

まず、アンケート結果から見えることなんですけれども、意見としましては、スタッフの声を聴いて欲しいという意見が多かったと聞いております。そしてスタッフを大切にしたい、また、スタッフと管理職とのコミュニケーションの重要性が今回のアンケートの結果から見えてきたとお聞きしております。

2つ目のご質問で、技術力不足等についてでございますが、去年と比較しまして退職の理由が多かったものでございますが、体調不良が去年は8名でございまして、今回は12名ということで4人増えております。それと技術力不足なんですけれども、今年は10名、去年が6名ということで、ここも4名ほど増えております。このようなことから17名も増えたんでございますけれども、特に顕著な理由は見当たらないというご意見を病院の方からは聞いておりますけれども、先程言いましたところの技術力不足、また体調不良等が若干増えているという傾向がございました。以上でございます。

藤川議長

西山議員の質問が終わりました。

次に、1番、西村議員の発言を許します。

西村議員

議長。

藤川議長

西村議員。

西村議員

議席番号1番、西村慧でございます。議長より発言の許可をいただきましたので一般質問をさせていただきます。

昨年11月に当組合議会に甲賀市議会選出といたしまして、一般質問としては、初めての発言となります。本組合議会におきましても一般質問や質疑を通じまして甲賀湖南地域における質の高い医療提供について地域市民から愛され信頼される病院であり続けられるよう、設立団体の議員としての役割をしっかりと果たして参りたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。それでは質問に入らせていただきます。

「甲賀保健医療圏域内における小児二次救急の診療体制について」お伺をいたします。1問ではありますが通告に従いまして行います。

甲賀保健医療圏域の夜間等における小児二次救急診療は、滋賀県保健医療計画に基づき、湖南・甲賀小児救急ブロックの運営が2021年4月1日より開始されたことから、基幹小児救急医療機関として栗東の済生会滋賀県病院が実施していると認識をしております。そしてこの再編につきましては、小児科医の負担軽減そして少子化に伴う重症例を扱う病院を取りまとめる方向としてやられていると一

定理解をしております。その結果、特に甲賀市としては小児二次救急の受診までの夜間の地理的距離が遠くなる結果となりました。それから3年が経過しようとしておりますが、以下の3点について、どのような状況と管理者の所見をお伺い出来たらというふうに思います。

まず1点目です。本病院の受入れ時間についてです。中核病院である現状は、公立甲賀病院の小児二次救急の受け入れ時間帯というものを伺いたいというふうに思います。

次に2点目は、済生会滋賀県病院の受診人数について伺いをいたします。当院の小児救急受入れ件数については、先程、全協のご説明でも少しありましたけれども、今年度の上半期においては655件の全体で当医療圏域は552件の受入れをされているというところでしたけれども、済生会滋賀県病院で受診をされている小児二次救急患者の人数の実績をお伺いしたいというふうに思います。

最後に3点目は、小児二次救急診療体制の拡充の、管理者の考えについてをお伺いしたいというふうに思います。現在、夜間においては当圏域では、小児救急の受入れは当病院では実施されていないという状況です。当医療圏域における今後の拡充について、公立甲賀病院を設置している公立甲賀病院組合管理者としての今後のお考え、特に甲賀・湖南両市の医療政策を踏まえてのご判断かとなりますけれども、ご所見をお伺いしたいというふうに思います。以上3点よろしく願いいたします。

玉木事務局長

議長。

藤川議長

事務局長答弁。

玉木事務局長

1番 西村慧議員の一般質問にお答えいたします。

甲賀保健医療圏域内における小児二次救急について、1点目の甲賀病院の小児二次救急の受け入れ時間帯につきましては、平日の診療時間内の8時45分から17時15分、及び、小児救急医療拠点病院体制にある土曜日・日曜日・祝日の9時から18時の時間帯において小児救急患者の受け入れを行っております。

次に、2点目の滋賀県保健医療計画に基づき、済生会滋賀県病院を受診している小児二次救急患者の人数につきましては、済生会滋賀県病院から提供いただきました小児救急業務の診療実績報告に基づき、当圏域から受診された患者数をお答えいたします。

まず、当該制度が始まりました令和3年度は763人が受診され、うち55人が入院されました。令和4年度は1,012人が受診され、45人が入院。令和5年度は2月末まででございますが1,182人で、入院は49人ございました。

以上、答弁といたします。

岩永管理者

議長。

藤川議長

管理者答弁。

岩永管理者

お答えいたします。

3点目の小児二次救急診療体制についての考え方でございます。

全国的な小児科医師の不足や医師の働き方改革を背景に、高度な小児救急医療体制を維持していくために集約化が必要であるとして、令和3年4月よりブロック制が導入された経緯があります。当病院としましても、小児科医の確保は困難な状況が続いており、現在の2名の小児科医体制を堅持し、小児二次救急診療体制により運営を維持いたしております。

当組合といたしましては、一部事務組合を構成する甲賀市及び湖南市の担当部局におきまして、医療政策について議論検討をいただき、両市の指示に基づき、公立甲賀病院に対しましては、中期目標を通して医療圏域における役割を果たすよう指示をいたしております。県に対しましては、制度拡充、また、環境の改善など引き続き求めてまいりたいと考えております。

以上、答弁いたします。

西村議員

議長

藤川議長

1番、西村議員

西村議員

ありがとうございました。

詳細にご説明いただきありがとうございました。実績をお伺いしますと、今年と去年、1,000名を超えているという結果から一定の方が受診をされていると、一定程度の需要と言いますか必要性を感じさせていただきました。一方で県の方向性としての小児科医さんが減少すると言う中で、のやむを得ない状況だと言うふうに理解しておりますけれど、今、管理者からご答弁ありました通り、アクセス環境の整備であるとか、これはハード面の整備でございますので、当組合としてよりかは、周辺市町との連携になってくるとは思いますけれども、甲賀医療圏域の皆さんがより安心して暮らせるような制度を改めまして確認させていただきまして質問を終わらせていただきます。

藤川議長

西村議員の質問が終わりました。以上で一般質問を終わります。

○閉会

藤川議長

お諮りします。

本定例会において議決された案件について、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、その整理を議長に委任願いたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

藤川議長

異議なしと認めます。したがって条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決しました。

これで本日の日程は全て終了しました。よって会議規則第7条の規定により閉会いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

藤川議長

異議なしと認めます。よって本定例会は閉会することに決しました。

以上で、令和6年第2回公立甲賀病院組合議会定例会は閉会いたします。

ありがとうございました。

(3月27日 午前10時45分閉会)

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

議長

藤川みゆき

署名議員

西山 実

署名議員

加藤貞一郎